

## 令和5年子供に関する定点調査検討会議（第2回）

### 議事要旨

日時：令和5年2月28日（火）18:00～20:00

場所：都庁第一本庁舎33階特別会議室S1

※オンサイト及びオンライン（Teams）の併用

参加者：○オンサイト出席

西田 淳志委員・森田 明美委員・石賀 裕委員・小平 房代委員・田谷 拡之委員

○オンライン出席

池本 美香委員・伊藤 美奈子委員・松原 康雄委員、渡辺 由美子委員

#### 【議事】

- （1）子供の意見聴取方法（案）
- （2）調査対象設定及び設問数（案）
- （3）調査項目骨子（案）
- （4）調査票のフォーマット（案）

#### 【議事録】

- （1）子供の意見聴取方法（案）

<主な意見等>

- ・ 調査票を作成する段階から子供の意見を聴くことは重要である。協力してもらうために、定点調査がどのようなものかをわかりやすく説明する必要がある。
- ・ 来年度以降は、質問の意図等を明確にしたうえで、子供と議論するとよいのではないか。

- （2）調査対象設定及び設問数（案）

○特に意見無し

- （3）調査項目骨子（案）

<主な意見等>

- 因果関係や相関関係、影響という言葉は、統計上の分析を行った上で言える言葉なので、正確に使った方がよい。

- 定点調査は、記述統計を重視していくべきであるので、一つ一つの項目の聴き方が大事になる。
- 学校で実施する調査は、学校について書きにくいことがある。本調査は、家庭に郵送して行う調査であることから、学校にいる時には聴けないことを調査できるとよい。
- 家庭に郵送して調査するのであれば、保護者の目の前で回答している可能性もある。家庭では書きにくいこともあるので、保護者の前で回答しても安全な内容にする必要がある。
- 東京都子ども基本条例の目的を踏まえた東京都の独自の質問として、子供たちが日常生活の中でどれくらい笑顔で過ごしているのかについて調査してもよい。
- 子供の Well-being に関連が強いのは、困ったときに相談できる人がいるか否か。今回の定点調査でも調査すべき項目である。
- 悩んだ時の相談相手に関する調査では、選択肢に親、兄弟姉妹、友達、先生の他に、地域の人を設定する。さらに、インターネットにしか頼れない子供も把握できるようにするとよい。
- インターネットがない家庭の子供は、学習面でも不利益を受けていると感じている。家庭でのインターネットの接続可否や容量制限の有無などは、調査できるとよい。
- 子供の持ち物、家庭にある物で子供の成長に深くかかわるものは、時代によって変化する。その変化を押さえることは必要だと思う。

#### (4) 調査票のフォーマット (案)

##### <主な意見等>

- 分かりやすいデザイン、文字を減らす、大事なところは強調するなどの工夫が必要である。
- 「子供の定点調査」の名称は、子供には伝わらない。どのような名称がよいか子供に聞いてみるのもよい。

以上